

# 株式会社 ロボット工業

## 当社は

当社は、産業用機械の製造、販売を行っております。主にプラスチックフィルム(ビニール)の製造ラインに欠かせない巻取機を製造しております。1台1台、顧客のニーズに応え、作り続けております。

## 事業内容

以下に掲載しているのは当社で製作した製品の一部です。これ以外の製品も多数掲載しておりますので当社ホームページをご覧ください。

### ボビンレス耳巻取機

フィルムの製作ラインで行われている耳落とし(トリミング)工程で発生する耳を巻き取る縦型耳巻取機の新型です。出てきた耳を縦型カセ枠に巻き付けます。満了になりましたら自動的に巻取枠が傘状に収縮し巻きロールを落とし、自動でカット巻き付けします。巻き替えを自動で行うので高速ラインへの対応も可能です。従来の耳巻きでは巻芯に紙管を使用していましたが、紙管を使用しないため、巻いた耳を再生、または、廃棄する際に紙管の処理に困ることが無くなるという利点があります。

当社で特許を取得しています。(特許第 4428603 号)



### TWE 型巻取機

チューブ巻用巻取機で低価格、省スペースを追及した装置です。巻取機手前にある既存のピンチロールを利用することで、巻取機のピンチロールを省き価格を下げました。従来のターレット型に比べて機械巾は極力狭く作られています。巻取紙管3”、6”切替(オプション機構)、3”エアシャフトに6”スリーブを追加することにより両用が可能です。



## 巻取機について

一般的に薄くて長い状態にある紙やプラスチックフィルムは「ウェブ」と呼ばれます。これらは連続して成形するのが最も効率のよい加工方法です。また、ウェブを最終製品にするために、切ったり、貼ったり、塗ったりと様々な工程が必要になります。それらの工程を高品質で生産性を高める為、前工程として一旦巻取る必要があります。巻き取りは、「しわなく」「ずれなく」「くずれない」ことが要求されます。

当社のミッションは、素材や形状が多様化していくウェブに合わせて新たな巻取機を提供することにあります。

## 社名の由来と歴史

ロボット工業という名前は、1970年創業時に、ロボットという最先端事業を担いたいという思いで名付けました。しかし、当時、ロボットは夢の世界で創業したばかりの小さな会社にできる仕事はありませんでした。その頃、スーパーやコンビニで使用するポリ袋が市場に出始め、プラスチックフィルムの用途が多様化し需要が拡大していきました。それに伴い、単なる付属装置であった巻取機の重要性が認識され、商品として認知され市場は拡大しました。この様な歴史をたどってまいりました。創業時の夢は形を変えて現代社会の産業に貢献しております。

## 社長のご挨拶

皆様におかれましては、いつもお世話になっておりまして、ありがとうございます。弊社は、皆様の工場、ラインのスタイルに合ったオーダーメイドの装置を提案致します。営業から設計・製作・試運転・現地への据付まで一貫して自社で行っております。

今後も引き続き、もの作りに邁進いたす所存でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



## 会社概要

代表者	代表取締役 唐木 純一郎
住所	〒243-030 神奈川県愛甲郡愛川町中津 6762
Tel/Fax	046-285-2591/046-285-2592
U R L	<a href="http://www.robot-k.co.jp/">http://www.robot-k.co.jp/</a>
E-mail	<a href="mailto:j.karaki@robot-k.co.jp">j.karaki@robot-k.co.jp</a>
事業内容	メカトロニクス機器設計製作
資本金	56 百万円